

基本方針

(医学と共通)

1. コンセプト(キャッチフレーズ)
2. 医師、歯科医師として求められる基本的な資質
3. 総量のスリム化
4. 準備教育の取扱い
5. *の取扱い(共用試験出題基準との関係整理を含む)
6. 地域包括ケアシステム(多職種連携、在宅医療等)

1

基本方針

(歯学個別の事項)

1. 疾病構造の変化等を踏まえた修得すべき基本的事項の再整理
全身疾患と歯科治療、口腔状態の関連について
2. 臨床実習内容(現行コアカリp47)について
診療参加型臨床実習の水準に変更が必要
3. 臨床実習開始までの基礎模型実習を含めた、技能教育に関する
到達目標について
4. コアカリ、歯科医師国家試験出題基準、歯科医師臨床研修
到達目標との整合
5. 世界への発信(英訳を意識した用語選定)

2

コアカリ改訂における
コンセプト(キャッチフレーズ)(案)
(医科・歯科共通)

「多様な医療ニーズに対応できる
医師・歯科医師の養成」

国際的な公衆衛生や医療制度の変遷に鑑み、
国民から求められる倫理感・医療安全、
地域包括ケアシステム、健康長寿社会 などの
ニーズに対応できる実践的臨床能力を有する
医師・歯科医師を養成する。